

震度 7 の連鎖：首都直下地震を考える

～福井地震から 70 年～

震度 7 の始まりを知り、これまでの震度 7 を知る。そして…

防災・災害資料を専門に扱う「**防災専門図書館**」(東京都千代田区)では、企画展「震度 7 の連鎖：首都直下地震を考える ～福井地震から 70 年～」を、2018 年 6 月 20 日 (水) ～ 12 月 28 日 (金) まで開催しています。

▼図書館 H P <https://www.city-net.or.jp/library/archives/3265>

■主旨

70 年前の 6 月 28 日、福井平野で M7.1 の大地震が発生した。この直下型地震によって家屋の倒壊率が 90% を超えるなど、あまりの被害の大きさから「震度 7」が創設された。

「震度 7」はその後、阪神・淡路大震災で初めて適用され、以後、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震で観測された。本企画展では、各地震の地域特性と被害状況(火災・土砂災害等)との関係を中心に展示し、都市型災害となる首都直下地震への備えを考える契機とする。

■福井地震 [M7.1]：1948 年 6 月 28 日 17:13 (当時は夏時間のため 16:13) 発生。

明瞭な断層は地表には現れなかったが、福井平野東縁断層帯西部が活動したとみられている。死者 3,769 人、家屋の全壊 34,000 棟。都市部では火災により 4,100 棟以上が焼失し、地震のわずか 3 年前の福井空襲と同じような焼け野原が広がった。

■イベントの見所

各地で発生している「震度 7」の地震。それぞれの被害が分かる資料を、一堂に会して展示できるのは当館の蔵書ならではの。それ以外にも震度計測や耐震対策などをテーマに、首都直下地震の対応を考えるための資料も展示する。大阪府北部の地震も反映している。

- 《見所一例》
- ・パネル：「震度 5 以上は何回？ 都道府県別 地震頻度」
 - ・写真：福井地震 (GHQ 撮影写真)、新潟県中越地震、熊本地震
 - ・映像：福井地震 (GHQ 撮影)、東日本大震災、熊本地震ほか
 - ・資料：各地震関連資料、首都直下地震関連資料
 - ・感震プレーカーのデモ体験、家具固定器具などの展示

■開催概要

主 催： 防災専門図書館

日 時： 2018 年 6 月 20 日 (水) ～ 12 月 28 日 (金)

会 場： 東京都千代田区平河町 2 - 4 - 1 日本都市センター会館 8 階

入館料： 無料

本件に関する問合せ先

主催：公益社団法人 全国市有物件災害共済会 防災専門図書館

担当者：矢野・堀田

TEL：03-5216-8716 FAX：03-3265-8222

Email：lib.bouasi@city-net.or.jp

URL：<https://www.city-net.or.jp/library/>

＜企画展への資料提供機関＞

- ・東京消防庁（新潟県中越地震写真、家具転倒防止具資料）
- ・東京消防庁麹町消防署（家具転倒防止具資料、熊本地震調査報告）
- ・東京都水道局（災害時給水ステーション資料）
- ・仙台市消防局（新潟中越地震写真）
- ・長岡市消防局（新潟中越地震写真）
- ・運輸安全委員会（新潟中越地震写真）
- ・防災科学技術研究所（GHQ 撮影写真・映像ほか）
- ・アジア航測株式会社（新潟県中越地震写真）
- ・株式会社パスコ（熊本地震写真）
- ・株式会社危機管理教育研究所（熊本地震ほか写真）
- ・株式会社リンテック 21（家具転倒防止具・感震ブレーカー）
- ・大和電器株式会社（感震ブレーカー）
- ・株式会社エヌ・アイ・ピー（感震ブレーカー）
- ・三井住友信託銀行 福井支店（福井支店写真：震災時の建築物）

防災専門図書館とは

災害・防災資料に特化した専門図書館。

昭和 31 年に開館、今年で 62 周年を迎えた。

蔵書は 16 万冊。地震・洪水などの自然災害だけでなく、火災・公害・事故・戦災など人為災害も扱っている。

図書館は一般に公開しており、無料で利用できる。

HP には、江戸時代のかわら版などのデジタルアーカイブも充実。オリジナルコンテンツに「防災いろはかるた」がある。



<展示のようす（一部）>

★ 会場（防災専門図書館 閲覧室）



★想定される首都直下地震



★ 震度 5 以上は何回？ 都道府県別震度頻度



★「福井地震」GHQ 撮影による被害状況写真



★ 福井地震と阪神・淡路大震災の被害状況



★ 新潟県中越地震・熊本地震の被害状況



★ 通電火災：試してみよう「感震ブレーカー」



★ 耐震建築の歴史

地震被害を受けて 変わる基準を追う

